

千葉県 NEWS

CHIBA CANCER CENTER NEWS

がんセンターニュース



第51号

令和4年12月15日発行
発行/千葉県がんセンター

基本理念

私たちは、心と体にやさしく、希望の持てるがん医療を提供します。

巻頭言

患者さん中心の医療とがん看護の継承

看護局長 鈴木 美香



秋晴れの令和4年11月12日土曜日、がんセンターの創立50周年記念式典が盛會に執り行われました。飯笹病院長が、どのような時代背景の中で、がん専門病院が求められたのか、どのような経緯で福間先生が初代病院長に選出されたのか、1972年、沖縄返還の年に200床で始まった病院が、高度成長期の中で発展し、医学の発展とともにがん医療に対する県民の期待を受けながら、「心と体にやさしく希望の持てるがん医療」の実現に邁進するがんセンターと職員、そのような中で起きた医療事故と苦悩の日々を語られました。改めて、安全で安心な医療を提供することの大切さを実感しつつ、寝食を忘れ、頑張っていた若かりし日々を懐かしく振り返ることができました。また、短い時間ではありましたが、式典に参列頂いた諸先輩や同僚と楽しい時間が持てました。

さて、50周年を迎えるにあたり、私自身の歴史を振り返りました。沢山の取り組みと一緒に取り組んだ先輩や同僚の顔を思い出しながら、故・石井ノリ子看護部長さん指導の下、ターミナル期を4つに分け、それぞれの病期に合わせた看護を明文化し、看護実践に活かす取り組みが、今の私の看護の原点になっている事に気付きました。自分の看護行為に意味を見出す取り組みは、私のポジティブ思考を育ててくれたように思います。

時は流れ、自身が看護管理者として、今の私に何ができるのか、よく考えるようになりました。『仕事は楽しく』をモットーに、看護師長さんや悩むスタッフの気持ちに寄り添いながら患者さん中心の医療と看護を提供できる看護局を継承できるように、悩みながら精進したいなと思っています。

コロナの第8波の到来が懸念される中、まだまだ受難は続きますが、がんセンターの職員の皆さんが少しでも良い環境で働けるように努力したいと思います。

臨床の現場から

乳腺センター

乳腺外科 部長 中村 力也

乳

がんは女性の11人に一人が生涯のうちに罹患し、他がんと比較して若い女性に頻度が高いという点が特徴です。多くの患者さんが、家庭生活の中心を担いながら社会活動行う中で今までの生活と変わらないような状態で治療を進めていくことが必要となります。

乳腺外科の最近の取り組みとしてリンパ節転移陽性乳癌患者に対する腋窩郭清術省略があります。従来、腋窩リンパ節転移を伴う場合の標準手術は腋窩リンパ節郭清とされていました。しかし近年では薬物療法の進歩により術前化学療法でがんが消失することも少なくありません。たとえ術前化学療法により、がんが消失した場合でも腋窩リンパ節は完全に切除していません。そのため、約3割の患者さんは腋窩郭清に伴うリンパ浮腫の合併症に悩み続ける状態でした。当科では

2019年より多施設共同試験に参加し、術前化学療法によりリンパ節転移の消失が確認された場合には腋窩郭清を省略しています。臨床試験登録が終了した2021年以降は観察研究として同様の取り組みを続けています。これまでに約50例の患者さんがリンパ節転移消失により腋窩郭清術を回避しております。

また乳房整容性の維持という点においては年間約380例手術のうち160例（44%）に乳房温存術を施行し、乳房全切除術のうち52例に形成外科で乳房再建術を施行しております。

また最近では初期乳癌患者におけるBRCA遺伝子変異の検査や、進行再発乳癌患者におけるがん遺伝子パネル検査など日常診療の中に遺伝子検査が取り入れられるようになってきています。2022年9月にBRCA遺伝子変異のあるHER2陰性早期乳癌に対しPARP阻害薬の術後投与が保険承認され、がんセンターを訪れる多くの患者さんが遺伝子検査の対象となりました。

今後もダイナミックに変化していく乳癌診療において常に最新の治療を取り入れ、患者さんに最良の医療を提供しつづけていくことを目指し、我々乳腺外科は日々取り組んでまいります。



地域連携室だより

初診患者さんのご紹介にあたってのお願い

看護総合支援センター 部長 鍋谷 圭宏

日 頃より地域の先生方から多くの患者さんをご紹介いただいております。深く感謝申し上げます。先生方よりご紹介いただいた患者さんが安心してスムーズに診療を受けていただけるように、初診患者さんのご紹介にあたりお願いをさせていただきます。

当院は外来での診療時間を十分に確保するために、原則的に完全予約制で診療をさせていただいており、初診患者さんの診療の曜日や時間は診療科により異なります。そのため、当院へ初診の患者さんが予約なしで受診された場合、診療までかなりお待たせしてしまうことがあります。また、診療科によっては当日診療ができず、後日再度受診いただくことになり、患者さんに多大なご負担をおかけしてしまっております。

そのため、当院へ患者さんをご紹介いただく際は、必ず事前にお電話でご予約をさせていただくように患者さんにご説明をお願いいたします。また、お電話でのご予約につきましては、患者さんからのご予約だけではなく、医療機関からのご予約もお受けしております。なお、緊急を要する場合はこの限りではありませんが、必ず医療機関から直接事前に地域医療連携室にお問い合わせください。

また、セカンドオピニオン目的のご紹介につきましては、担当医師と予約専用枠がございます（時間もかかりますので、一般の予約枠と異なります）。そのため、患者さんへセカンドオピニオン目的のご紹介であることをお伝えいただき、お電話でご予約の際にセカンドオピニオン目的であることをお申し出いただけますようご説明をお願いいたします。

初診の際にスムーズな診療が受けられませんか、患者さんも不安が募ります。地域の先生方のご要望には出来るだけお応えしたいと思いますので、ぜひご理解とご協力をお願い致します。

○患者さんからのご予約

【電話番号】 043-263-4071（地域医療連携室予約担当）

【予約時間】 9:00～17:00（平日のみ）

○医療機関からのご予約

【電話番号】 043-264-5633（地域医療連携室直通）

【予約時間】 9:00～17:00（平日のみ）

治験の用語：「プラセボ」

治験臨床試験推進部長 三梨 桂子

プラセボ（偽薬）とは治験薬と同じ見た目ですが、薬の成分が入っていないものを言います。

例えば、薬の成分が入っていない錠剤を服用しても、患者さん自身が、「このくすりは効き目がある」または「具合が悪いのは飲んでいくすり原因じゃないか」と思い込むことで症状の改善（プラセボ効果）や、予期せぬ症状が出現（ノセボ効果）することがあります。このような「思い込み効果」を除外し、治験薬の効果や副作用を正確に知るために、プラセボはとても重要な役割を担っています。

治験アップデート

治験臨床研究センターでは募集中の治験等の情報を提供しています。概要は以下のとおりですが、詳しくは当センターのホームページをご覧ください。

現在募集中の治験情報 R4/10末時点での募集中試験数は40件

①食道がん	1件	④大腸がん	5件	⑦膀胱がん	2件	⑩リンパ腫	7件
②胃がん	3件	⑤前立腺がん	5件	⑧腎癌	1件	⑪骨髄線維症	2件
③胆道がん	1件	⑥尿路上皮がん	1件	⑨乳がん	11件	⑫頭頸部癌	1件

当センターでは以下の治験を実施しています

ホームページアドレス

<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/riyo/kanja/chiken/jissijyoukyou.html>



研究の現場から

がん遺伝子NCYMを標的にした

薬剤開発

上席研究員 末永 雄介

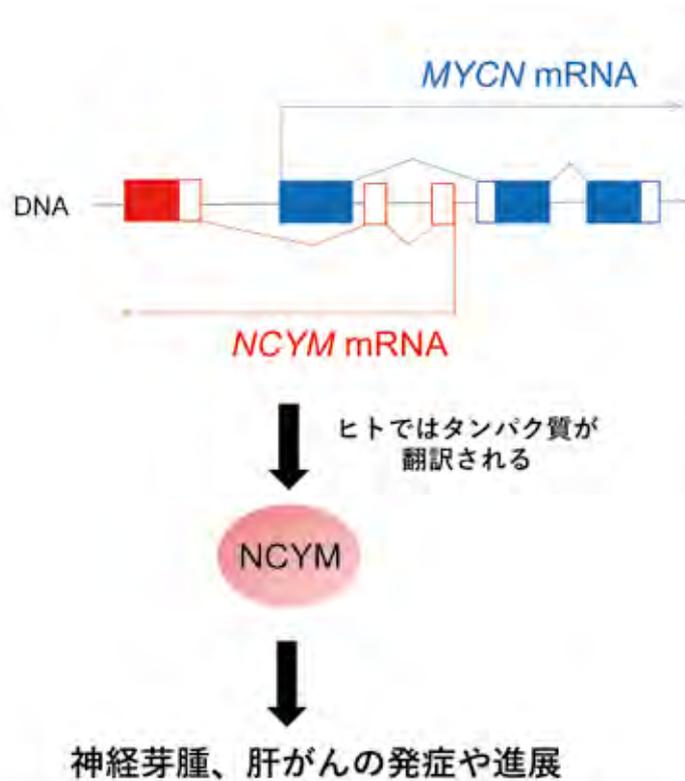
神

神経芽腫は10才に満たない幼い子どもに好発するがんです。胎児の神経細胞やその前駆細胞が異常に増殖することがその発症原因ですが、この過程にがん遺伝子「MYCN」が関与します。私たちは神経芽腫の治療法を研究する中で、がん遺伝子「MYCN」の裏側から転写されるRNA「NCYM」がタンパク質に翻訳されることを2014年に発見して報告しました(図)。NCYMタンパク質は生物進化の結果、チンパンジーとヒトの共通祖先で初めて誕生したタンパク質です。その後、NCYMタンパク質が神経芽腫の転移を促進し予後不良と関連することも突き止めました。

最近になりNCYMの発現量を他の様々な大人のがん種で調べていたところ、特に肝がんの予後との強い関連を見出しました。肝がんは元々アジアに多く、一般に肝炎ウイルスがアジアで蔓延していることがその原因と考えられて

います。しかし、人種による遺伝的背景の差の関与も大きいとする報告もあります。実際NCYMには東アジア人のみを持つタイプがあり、中でも日本人で頻度が多いことを見出しています(約30人に1人)。そこで、肝がんの発がんモデル確立などに経験の豊富な筆宝研究所長にも参加を要請し、肝がん発症におけるNCYMの役割を調べるプロジェクトを立ち上げました。

この課題は幸運にもAMED(日本医療研究開発機構)のe-ASIAプログラム(2021-2024年)に採択され(これは、東アジアサミット参加国の共同研究を促進するプログラムで、東アジアで特に重要な医学的課題に取り組む研究に資金面で支援を行うものです)、国内では奈良先端大、理研にも分担として入っていただき、インドネシアのガジャマダ大学、オーストラリアの小児がん研究所との共同研究として研究を進めています。嬉しいことに、今年度は内閣調整費の巨額の追加支援対象にも選ばれて報道発表もされるなど、NCYM研究を推進する環境が一気に整備されました。研究チームではNCYM高発現の肝がんにも有効な薬剤を複数同定することにすでに成功しており、NCYMとこれら薬剤の結合を原子レベルで詳細に解析することにより、薬効のより強い化合物の設計を目指しているところです。



お知らせ・報告

千葉県がんセンター創立50周年記念式典ならびに 記念講演の開催について

千葉県がんセンター診療部長 田中 尚武

千葉県がんセンターは、1972年11月に国立がんセンター、愛知県がんセンターについて三番目のがんセンターとして開院しました。2022年11月創立50周年を迎えるにあたり、当センターの運営に携われた多くの関係者の皆様方のご支援、ご協力に深く感謝の意を申し上げたく、千葉県がんセンター創立50周年記念式典ならびに記念講演を企画・開催いたしました。

式典は、2022年11月12日土曜日10時より、京成ホテルミラマーレ・6Fローズルームで開催されました。当日の天気は晴れ、コートも必要もないほどの陽気であり、まさに記念式典日和となりました。式典は、山崎 晋一郎千葉県病院局長の開会挨拶に始まり、熊谷 俊人千葉県知事挨拶、佐野 彰千葉県議会議長、神谷 俊一千葉市長、松原 久裕千葉大学大学院医学研究院院長・医学部長、入江 康文千葉県医師会会長（代理、小嶋 良宏同副会長）、寺口 恵子千葉県看護協会会長よりそれぞれ来賓祝辞をいただきました。次に、来賓紹介、祝電披露が行われた後に、後半の講演の部となりました。まず初めに飯笹 俊彦千葉県がんセンター病院長より、「千葉県がんセンター50周年を迎えて」というタイトルでの講演がありました。講演の中で千葉県がんセンターの50年の歴史、現状、そして今回の式典スローガンである「Towards continuous and sustainable cancer care」に添って千葉県がんセンターのこれから向かう道を明確にお話いただきました。そして記念講演としまして中釜斉国立研究開発法人国立がん研究センター理事長より、「次世代がん医療への展望～デジタル化を見据えて～」というテーマでお話いただきました。がんゲノム医療の解説に始まり、その問題点の指摘、医療のデジタル化を見据えた医療基盤の構築、研究・治験ネットワークのアジア諸国との国際的連携活動、内視鏡外科手術のデジタル所見データベース化など、次世代がん医療の現状、展望につまみして幅広く解説いただき、参加者一同大変興味深く拝聴いたしました。

式典・記念公演には、来賓、招待者、県関係者を含め院外より114名の方々に参加いただきました。会場外には千葉県がんセンター50周年のあゆみとして、千葉県がんセンター50年の歴史の中の変遷を中心に年表形式にまとめたパネル展示を行いました。このパネルと同じ内容の小冊子は、「創立50周年のあゆみ」というミニパンフレットとして式典・参加者の皆様に配布いたしました。式典ならびに記念公演は12時30分過ぎには滞りなく終了し、一部の希望者の方々には、15時より千葉県がんセンター新病院の見学ツアーに参加いただきました。



県民公開セミナー報告

今年で20回目を迎える県民公開セミナーを、令和4年9月17日（土）午後1時から千葉駅7階ペリエホールA、Bで開催しました。今回のテーマは「開院50周年 千葉県がんセンターの最新の治療～次の半世紀への第一歩～」でした。飯笹病院長によるあいさつの後、胃がん・大腸がんの内科治療として、内視鏡科部長の鈴木医師が「内視鏡治療」、治験臨床試験推進部医長の今関医師が「薬物療法」、胃がん・大腸がんの手術として、食道・胃腸外科主任医長の加野医師が「胃がん」、食道・胃腸外科主任医長の外岡医師が「大腸がん」、乳がん治療の最新のトピックスとして、乳腺外科部長の中村医師が「手術」、乳腺外科医長の羽山医師が「薬物療法」と題し、講演しました。

当日は、約90名の方に御参加いただきました。来場者の方々から寄せられたアンケートには「参加してよかった」、「勉強になった」とのお声をいただいた一方で、セミナーの運営の面で率直な御意見もあり、今後の課題としていきたいと思っております。



初診担当医表

*当センターは予約制となっております。受診される場合は、電話で予約をおとり下さい。
*初めて受診なさる場合は、かかりつけ医など医療機関からの紹介状をお持ち下さい。

2022年12月1日現在

診療科	月	火	水	木	金
肝胆膵外科	岩立 陽祐	賀川 真吾	加藤 厚 石毛 文隆	柳橋 浩男	有光 秀仁
ハイパーサーミア	千葉 聡	千葉 聡	千葉 聡		千葉 聡
食道・胃腸外科	鍋谷 圭宏 (第2・第4) 外岡 亨 水藤 広	鍋谷 圭宏 早田 浩明 外岡 亨	早田 浩明 黒崎 剛史	鍋谷 圭宏 千葉 聡 加野 将之	加野 将之 水藤 広
消化器内科	傳田 忠道 三梨 桂子 鈴木 拓人 喜多絵美里	傳田 忠道 須藤研太郎 天沼 裕介 杉田 統	三梨 桂子 中村 和貴 喜多絵美里 今関 洋 石垣 飛鳥	傳田 忠道 三梨 桂子 鈴木 拓人 北川 善康 三浦 義史	須藤研太郎 中村 和貴 天沼 裕介 北川 善康 今関 洋
呼吸器外科	岩田 剛和		飯笹 俊彦 岩田 剛和		岩田 剛和
呼吸器内科	水野 里子 芦沼 宏典	新行内雅斗 芦沼 宏典		新行内雅斗 水野 里子	芦沼 宏典
乳腺外科	山本 尚人 味八木寿子 赤岡 徹朗	味八木寿子 羽山 晶子 玉貫 圭甲	中村 力也 羽山 晶子	羽山 晶子 玉貫 圭甲	中村 力也 玉貫 圭甲 赤岡 徹朗
形成外科				徳元 秀樹	徳元 秀樹
婦人科	鈴鹿 清美 海老沢桂子 井尻 美輪	鈴鹿 清美 井尻 美輪 (第2・第4・第5) 草西多香子 糸井 瑞恵 村岡 純輔	田中 尚武	田中 尚武 鈴鹿 清美 草西多香子 (第2・第3・第4・第5) 糸井 瑞恵 村岡 純輔	海老沢桂子 井尻 美輪
泌尿器科	小丸 淳 萩原 和久 井上 裕司	馬場 晴喜 米田 慧 門野 洋大 (第2・第4)	萩原 和久 米田 慧	佐藤 陽介 門野 洋大	小林 将行 井上 裕司
腫瘍血液内科	武内 正博 佐藤 昌靖 丸山 聡	熊谷 匡也 辻村 秀樹 三科 達三	武内 正博 佐藤 昌靖	熊谷 匡也 辻村 秀樹 三科 達三	武内 正博 辻村 秀樹 丸山 聡
脳神経外科	井内 俊彦 堺田 司	(担当医)	井内 俊彦	(担当医)	堺田 司
頭頸科	(担当医)	木下 崇 森本 侑樹 浅井 俊一		木下 崇 森本 侑樹 浅井 俊一	
整形外科	米本 司 嶋田 博人 木下 英幸	嶋田 博人 萩原 洋子		石井 猛 (第2・第4) 塚西 敏則 (第2・第4)	米本 司 萩原 洋子 木下 英幸
緩和医療科	坂下 美彦				
核医学診療部		小川 和行	久山 順平	久山 順平	小川 和行

電話
予約

●初診・再診予約(患者予約)

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

043-263-4071

●予約変更(患者予約)

月曜日～金曜日 午後1時～午後4時

043-263-4071

●医療機関からの直接予約

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

043-264-5633



JR千葉駅から 所要時間:約25分

千葉中央バス: 菅田駅、鎌取駅、千葉リハビリセンター、大宮団地(星久喜経由)行乗車・千葉県がんセンター前下車
小湊バス: 千葉県がんセンター行乗車・終点千葉県がんセンター前下車

JR鎌取駅から 所要時間:約13分

千葉中央バス: 千葉駅・蘇我駅行乗車・千葉県がんセンター前下車

JR蘇我駅から 所要時間:約16分

千葉中央バス: 鎌取駅行乗車・千葉県がんセンター前下車

松ヶ丘I.Cから

大網街道を大網へ向かって約2km右側



千葉県がんセンター

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2
TEL.043-264-5431 FAX.043-262-8680
<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/>